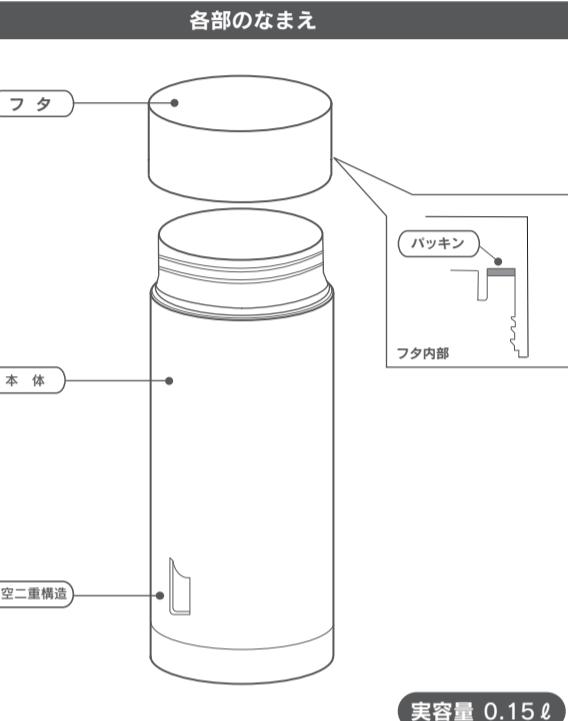


<MSM150>
ステンレス製携帯用まほうびん
取扱説明書

このたびは、ステンレス製携帯用まほうびんをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。後のためこの説明書は大切に保管してください。



安全上の注意

- 乳幼児の手の届かないところに置いてください。
また、いたずらには十分注意してください。(けが等の重大な事故につながる恐れがあります。)
- 湯(水)の量は口の位置までにする。
入れすぎると、フタを開める時にあられることに気が危険です。
- 湯(水)はしないでください。
(瞬間に水が入り、使用中に湯れて他のものを汚したりします。)
- ストーブやコンロ等火のそばに近づけないでください。
(火災の原因となる恐れがあります。また、製品の変形や変色の原因となります。)
- 電子レンジの加熱はしないでください。
(火花が飛んで故障やけがの原因になります。)
- フタにはパッキンがついていますが、飲み物を入れて、かばん等で持ち運ぶ際は、必ず締めきしてください。また、製品と貴重品(携帯電話、カメラ等)と一緒に入れないでください。(他のものを汚したり思わぬ事故につながります。)

注意事項をお守りいただきたい場合の損傷損害について、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

安全上の注意

- 熱い飲み物を入れた場合は火傷の恐れがあるので十分に注意し、飲める程度に冷ましてからお飲みください。(断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。)
- 自動食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。
(変形し湯れる等、故障の原因となります。)
- フタ・本体は絶対に煮沸しないでください。
(変形し湯れる等、故障の原因になります。)
- フタは確実に閉めてご使用ください。
(内容物が湯れることがあります。)
- 横置きはしないでください。
(内容物が湯れる原因になります。)
- 熱いやかんを口金(肩口)部分にふれさせないでください。

自動車専用缶ホルダーを使用する場合は

- あらかじめ强度を確認してからお使いください。强度が十分でないホルダーははずれたり破損して火傷をしたり車内や衣服を汚す原因になります。
- 市販の缶ホルダーは据え置き型をお使いください。ワインドーやエアコン吹き出し口に取り付ける吊り下げ型でのご使用はホルダーが外れる場合がありますので、使用しないでください。

こんなときには

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合にも当てはまらない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
フタがきっちりと閉まっていますか?	きっちり閉め直してください。	
フタから漏れる パッキンが正しく取り付けられていますか?	正しく取り付けてください。	
パッキンが消耗していませんか?	別売りのパッキンをお買い求めください。	

※パッキンは消耗品です。使用開始後1年を目安にご確認ください。消耗のある場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お手入れ方法

ご使用後はいつでも清潔にお使いいただくために必ずお手入れをしてください。

- 本体 お湯で溶めた食器用中性洗剤を柔らかいポンジにつけて洗ってください。洗剤を落とすときは水をかけながらすすぎ洗いをしてください。その後、すぐに乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- アルカリ性洗剤またはオレンジオイル系洗剤は因柄剥離、変色する場合がありますので、ご使用はお避け下さい。

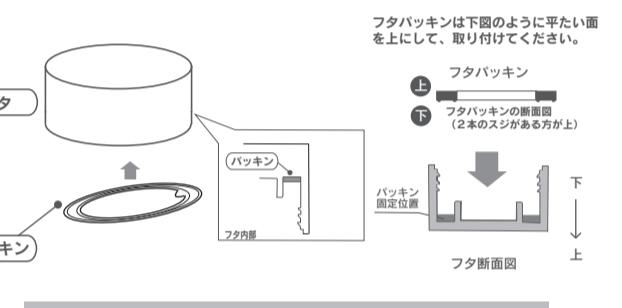
- 洗浄が終わったら乾いた布で十分に拭き取ってください。
お手入れ後、パッキンが確実にセットされているか確認してください。

<注意> ●絶対に自動食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。
(瞬間に水が侵入し、使用中に湯れて他のものを汚したりします。)

ステンレスを使用していますが、水質や不純物などにより、サビのような赤い斑点ができることがあります。このような場合は10分ほどのお湯を加入了お湯を入れ、3分後、柔らかいブラシで内面をきれいに洗って後、十分にすいで乾燥させてください。

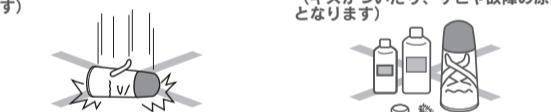
(保管について)
長時間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし十分に乾燥させてから高温多湿の場所を避け保管してください。

フタパッキンの取り付けについて



使用上の注意とお願い

- 落としたりぶつけたり、強い衝撃を及ぼさないでください。
(本体表面がへこんだ場合、保温、保冷性能が低下することがあります)
- シンナー、ベンジン、金属タバシ、みがき粉、クレンザー等は使用しないでください。
(キズがついたり、サビや故障の原因となります)



●落とす等で本体口元が変形した場合はご使用をおやめください。

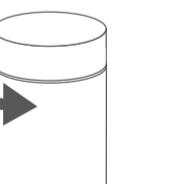
- 液体系漂白剤を使用しないでください。
(内容物を長時間保存しないでください。(変質や腐敗の恐れがあります。))
- 冷蔵庫に入れないでください。(変形、破損の原因となります。)
- 缶の缶ホルダーで使用する場合、一部車種や市販のホルダーの種類によっては入らないことがあります。

ご使用方法

ご使用前にフタ、本体を洗ってからご使用ください。

①フタをはずす

フタを矢印方面にまわしてはずします。



②飲み物を入れる。

飲み物を入れ、フタを確実に

しめてください。

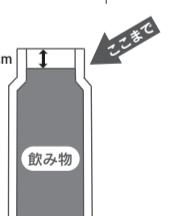
※飲み物の量は図の位置までに

してください。

入れすぎるとフタを閉めた

時に飲み物があふれ出る場合

があります。



あらかじめ本体内側に少量の湯(冷水)を入れ、予熱(予冷)をすると効果的です。
その後、そのお湯(冷水)を捨て新しいお湯(冷水)を入れてください。